

【科目名】 理学療法研究法		【担当教員】 浅海岩生							
【授業区分】 専門分野 (基礎理学療法学)		【授業コード】 3-15-0545-0-1		(メールアドレス) igasami@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 2 年次・後期		【選択必修】 必修							
【単位数】 1 単位		【コマ数】 15 コマ							
【注意事項】									
(受講者に関わる情報・履修条件)									
・統計学を復習しておくこと。									
(受講のルールに関わる情報・予備知識)									
・この講義は事前にビデオ学修をしておくことが前提です。(ビデオには小テストが含まれます。)									
・ビデオ学修については初回の授業で説明する。									
【講義概要】									
(目的) 理学療法は日々発展し、基礎科学・病態生理学に基づいた理解が必要となる。基礎理学療法学では解剖学、生理学、病理学、運動学、脳科学といった基礎科学・病態生理学に基づいた理学療法について理解を深めるとともに、理学療法の発展に寄与する最新の研究についての現状と課題について学修することを目的とする。									
(方法) 教科書に沿って基礎科学、病態生理学について理解を深め、理学療法への展開に結びつけができるように講義を行う。									
【一般教育目標(GIO)】									
・基本的な理学療法研究手法について知る。									
【行動目標(SBO)】									
・理学療法研究において研究の立案から発表まで一貫して実施できる。									
【教科書・リザーブドブック】									
・千住秀明／玉利光太郎; はじめての研究法 コ・メディカルの研究法 第2版、神陵文庫 ¥4,860									
【参考書】									
・随時資料を配布する。									
【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
・成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。									
・レポート、グループ発表により評価する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	30	40	20	0	0	10	100 点
評	取り込む力・知識		20	20	10				30

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力		10	20	10			40
	コラボレーションとリーダーシップ				10			10
	発表力				10			10
	学修に取り組む姿勢						10	10
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・科学の歴史と研究法の発達について学ぶ。 ・理学療法研究の領域 	講義(は一般教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学修 ・質的研究・量的研究について整理する。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 20分 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・少数例を対象とした研究法について学ぶ。 ・シングルケーススタディーとは何かまたその具体的方法を学ぶ。 ・少数例を対象とした実験を計画する。 	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学修 ・シングルケーススタディーの特徴をまとめてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 15分 			
3・4	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで計画した少数例の実験を行う。 ・実験結果を分析してみる。 	実習(マルチメディア教室・運動解析室)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験計画をまとめ必要なものを確認しておく。 ・授業後レポートを作成する。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 60分 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・データ抽出法の利点について学ぶ。 ・データ抽出の種類と特徴について学ぶ。 	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学修 ・データ抽出法ごとの利点と欠点を整理する。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 15分 			
6	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出の方法について学ぶ。 	演習(マルチメディア教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出とは何か、また具体的方法について調べておく。 		<ul style="list-style-type: none"> 15分 30分 			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のスタイルと特徴 ・多標本を使用した実験計画の基本型を学ぶ。 	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・検定について復習する。 ・ビデオ学修 		<ul style="list-style-type: none"> 15分 30分 			
8	<ul style="list-style-type: none"> ・統計を使用した検定法について学ぶ。 ・研究計画を作成する。 	演習(一般教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学修 ・研究計画書を見直す。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 30分 			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書の発表 ・研究計画書の基本的構成について学ぶ ・研究計画書を見直す。 	演習(一般教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学修 ・研究計画書を見直す。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 30分 			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・パイロットスタディを実施する。 ・研究計画書を見直す。 	実習(運動解析室)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験に必要なものを準備しておく。 ・研究計画書を見直す。 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 30分 			
11・12	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書に従い実験を実施する。 	実習(運動解析室)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験に必要なものを準備しておく。 ・データ整理 		<ul style="list-style-type: none"> 20分 30分 			

平成 26～28 年度入学者用

13	<ul style="list-style-type: none"> 発表会の準備(データ分析、プレゼンテーション作成、抄録作成) 	演習(マルチメディア教室)	<ul style="list-style-type: none"> データ整理 発表資料の準備 	30 分 120 分
14・15	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果を発表する。 	演習(一般教室)	<ul style="list-style-type: none"> 発表の練習をしておく。 抄録・プレゼン原稿を提出する。 	30 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。